

RYOBI®

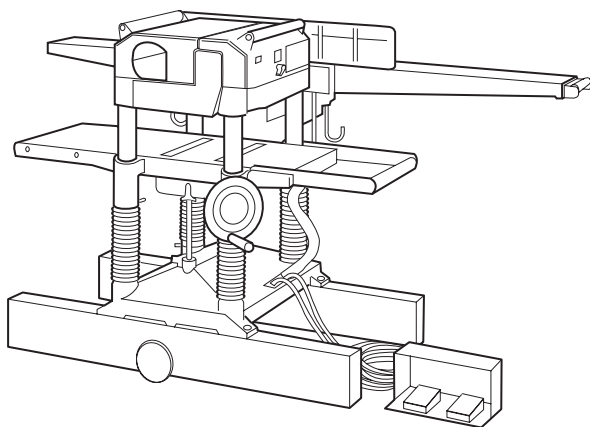
自動カンナ

AH-1 82TB AHA-1 82TB

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1 ~ 4
- ・各部の名称・用途・付属品 5
- ・別販売品 5
- ・仕様・アースについて 6
- ・手押しの安全カバーについて 6
- ・自動カンナ 7 ~ 10
- ・手押カンナ 11 ~ 13
- ・直角出し・分決め 14 ~ 15
- ・別販売品について 15
- ・保守と点検 16 ~ 17

このたびは、リョービ自動カンナをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠ 警告」、「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・転倒事故を防止するため、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・機械周辺の床は常に水や油でぬれていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行わないでください。
 - ・電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 停電などの時は、スイッチを切ってください。
 - ・停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止した時は、必ずスイッチを切ってください。電源が回復した時、急に始動し、けがの原因になります。

5. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
6. 無理に使用せず、作業に合った機械を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
 - ・ 手袋は刃物の交換の際に使用する以外は回転部に巻き込まれる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
9. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
10. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
11. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
 - ・ 機械の可動部分との接触による重傷事故を避けるために、部品交換の際には機械のスイッチを切り、電源プラグを外してください。
12. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または保守、点検、修理をする場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ 清掃する場合。
 - ・ 機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
13. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

⚠ 警告

14. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に接続したり、元スイッチを「入」にする前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
15. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
16. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。スイッチで始動および停止操作のできない機械は使用しないでください。
17. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
18. 機械の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

自動カンナご使用に際して

先に機械としての共通の警告・注意事項を述べましたが、自動カンナをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

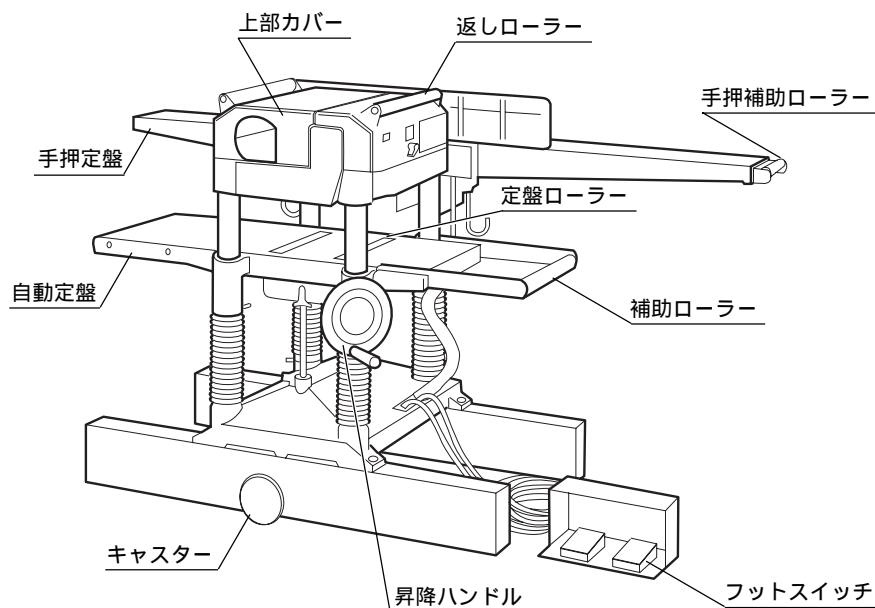
警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。
2. 運転中はカンナ刃、および可動部には絶対に手を触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 切屑排出口には絶対指などを入れないよう注意してください。
 - ・カンナ刃が高速回転していますので危険です。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
5. 材料が長い場合は、手押補助ローラーを使用してください。
 - ・使用しないと本体が不安定になり、けがの原因となります。

注意

1. 刃物類（カンナ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。
2. 使用中は軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、カンナ刃を空転させ、機体の振動やカンナ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
4. カンナ刃の取付け取外しなど、カンナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので、刃先に十分注意してください。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・異物があればカンナ刃が破損することがあり危険です。

各部の名称



用途

- ・木材の平削り、直角出し。

別販売品

- ・集じんフードセット

付属品

- ・ボックススパナ 10mm 1
- ・ボックススパナ 13mm 1
- ・ (+) ドライバ 1
- ・ (-) ドライバ 1
- ・ 両口スパナ 10 × 13mm 1
- ・ ストップピン 1
- ・ 刃高調整定規 1

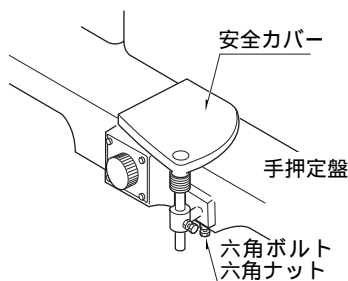
仕様

モデル		AH-182TB	AHA-182TB
電源		単相 100 V 50 / 60Hz	
電流		15 A	
消費電力		1,450 W	
回転数	自動カンナ	(no)7,000min. ⁻¹ (7,000 回 / 分)	
	手押カンナ	(no)9,500min. ⁻¹ (9,500 回 / 分)	
最大切削幅	自動カンナ	320mm	
	手押カンナ	160mm	
送材速度		高速 15cm/s(9m/min.) ・ 低速 10cm/s(6m/min.)	
最大切込深さ	自動カンナ	(送材速度 10cm/s)	3mm (250mm 切削幅) 2mm (320mm 切削幅)
		(送材速度 15cm/s)	3mm (180mm 切削幅) 2mm (250mm 切削幅) 1mm (320mm 切削幅)
	手押カンナ	3mm	
切削材厚さ (自動カンナ)		3 ~ 260mm	
定盤寸法	自動カンナ	320 × 600mm	
	手押カンナ	160 × 1,580mm	
機械寸法	幅	790mm	
	長さ	1,580mm	
	高さ	890mm	
重量		148kg	150kg

手押しの安全カバーについて

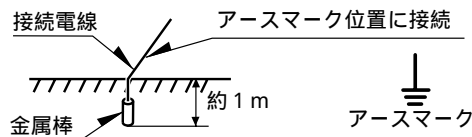
- 手押しの安全カバーは事故防止のため、取外したりしないで、必ず本体に取付けた状態でご使用ください。安全カバーは常にスムーズに作動するように保ち、変形したり、カンナ刃に接触しないようにしてご使用ください。

{ 労働安全衛生の構造規格第 2 章を参照
願います。 }



アースについて

- 本機を使用するときは、感電事故を防止する為、必ずベースのアースマーク位置に1.6 mm以上の絶縁電線(直径15mm以上の金属棒付)をビスで固定した後、金属棒を接地してください。



自動カンナ

仕上寸法および切込深さ調節

- 最大切込深さは送材速度と切削幅により異なります。表1を参考に無理のない切込深さに調節してください。負荷のかけすぎは機械各部の損傷の原因となります。

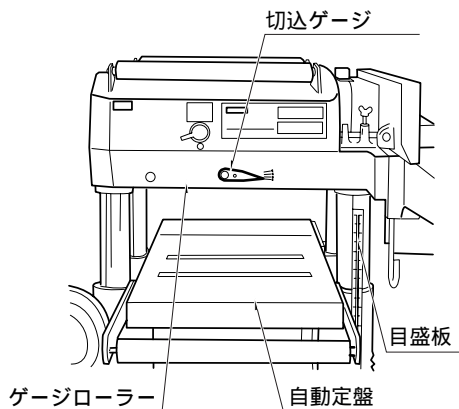
最大切込深さ(表1)

送材速度 切削幅	10cm/s (低速)	15cm/s (高速)
0 ~ 180mm	3mm	3mm
180 ~ 250mm		2mm
250 ~ 320mm	2mm	1mm

操作方法

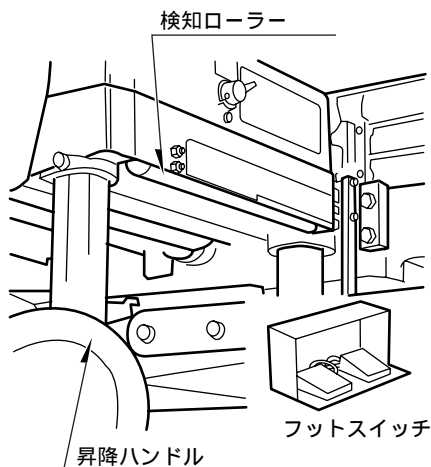
(AH-182TB)

- 昇降ハンドルを回し、目盛を加工仕上寸法に合わせます。
- 木材を自動定盤にのせ、ゲージローラーより20~32mm入れます。この時、切込ゲージにより切込深さが表示されます。



(AHA-182TB)

- フットスイッチによる自動昇降機構となっております。
- 木材を自動定盤にのせ、検知ローラーより20~30mm入れます。次にフットスイッチの「上」を踏み続け、自動定盤を上昇させます。検知ローラーで木材を検知しますと上昇は停止します。この時の切込深さは、検知ローラーの右半分(幅150mm)で検知した場合2mm、全面もしくは左半分で検知した場合1mmとなります。(切込深さをこれ以上にされる場合は昇降ハンドルで調整してください。)
- 目盛表示の寸法は仕上寸法です。
- 昇降ハンドルにより定盤を昇降させる場合は、昇降ハンドルを押付けながら回転してください。



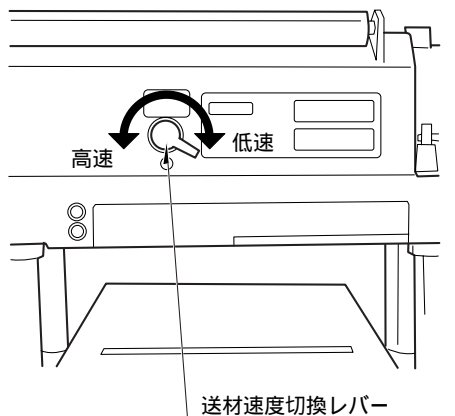
(注) 昇降ハンドル1回転で2.5mm昇降します。

送材速度

- 木材の送材速度は10cm/sと15cm/sの2段切換え方式です。切削材の硬軟、加工仕上状態、切削幅や切込深さに応じて適宜切換えてください。
- 送材速度の切換えは、スイッチを入れ、空運転させながら行ないます。送材速度切換レバーを高速側に倒すと15cm/s、低速側で10cm/sとなります。

(注) 切削中は絶対に送材速度の切換えを行なわないでください。

送材速度切換レバーは、それぞれの切換え位置に完全にセットし、中間位置では使用しないでください。



デジタル表示

- AHA-182TBの仕上寸法はデジタルで表示されます。

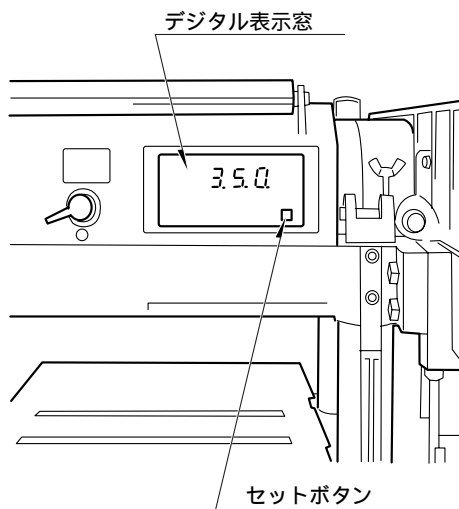
(基準位置の調整方法)

- さし込みプラグを電源にさし込むと自動定盤がどの位置にあってもデジタル表示は1分5厘で表示されます。この場合、基準寸法位置にセットする必要があります。
- 上昇用フットスイッチを踏み、自動定盤を上昇させ、上限リミットにより、自動定盤が止まる位置まで上昇させてください。
- 自動定盤が上限で停止したのを確認して、セットボタンを押してください。デジタルは1分5厘を表示します。この時の仕上寸法は1分5厘です。
- デジタルをセットした後は、下降用フットスイッチと上昇用フットスイッチを操作させ、デジタル表示を読みながら、加工しようとする寸法に調整してください。

(注) ・さし込みプラグを抜くとデジタルはクリアーされます。使用後もさし込みプラグを抜かない状態(デジタルが表示された状態)にしておけば、正確に基準位置は記憶されておりますので、寸法出しの連続操作が可能です。

短時間の休憩にはコードを抜かないようにしてください。

- さし込みプラグを抜いて再びさし込むと、自動定盤がどの位置にあっても1分5厘を表示します。この場合、自動定盤を止まる位置まで上昇させ、再びセットボタンで基準位置1分5厘にセットする必要があります。
- 1分～1分5厘の厚さに仕上げる場合は、手による昇降ハンドル操作を行なってください。



替刃式カンナ刃の交換

⚠ 警告

- ・カンナ刃の取付け、取外しの前に必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

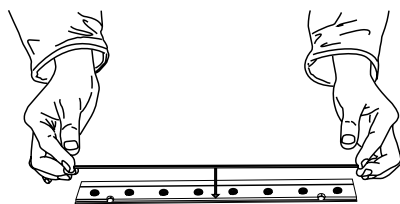
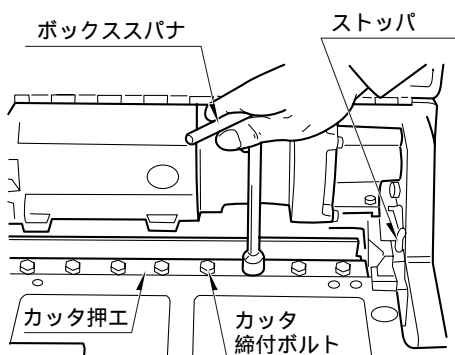
⚠ 注意

- ・カンナ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。
- ・カンナ刃の取扱いは、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。不用意に扱うと、切傷の原因になります。

- ・カンナ刃の交換は、次の手順で行ないます。

(取外し)

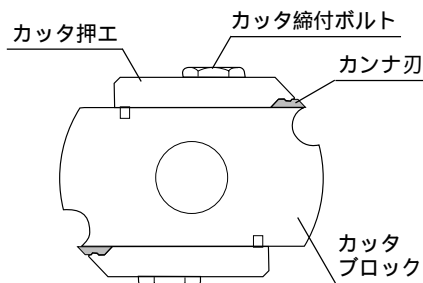
1. 上部カバーを上方に開きます。
2. 手押カンナ側部のつまみカバーを開き、つまみを回転させながら、ローラーケース上部の固定される位置を探します。
3. ストップを回しながら下に押し、カットブロックを固定します。
4. 付属品のボックススパナ(13mm)でカット締付ボルトをゆるめ、カット締付ボルトを取外します。
5. カッタ押工のネジ穴に取外したカット締付ボルトを取付け、カットブロックよりカッタ押工を取外します。
6. カッタ押工よりカンナ刃を取外します。



(取付け)

(注) カンナ刃を取付ける場合は、カットブロックおよびカンナ刃の取付け面の木屑などを取除いてください。

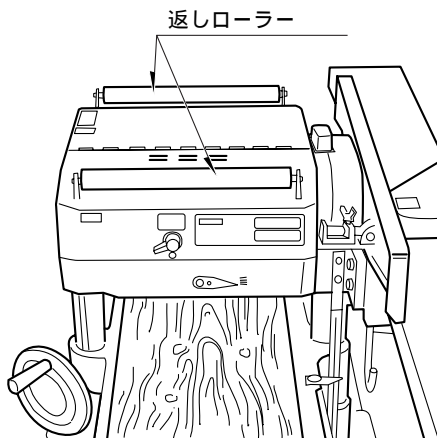
1. カッタ押工の凹凸部に合わせて、カンナ刃を取付けます。
2. カッタ押工をカットブロックにセットします。
3. カッタ締付ボルトを取付け、付属品のボックススパナで締付けます。



研磨式カンナ刃をご利用になりたい場合は、研磨式カンナ刃・押工板セット(別販売)をお買い求めください。

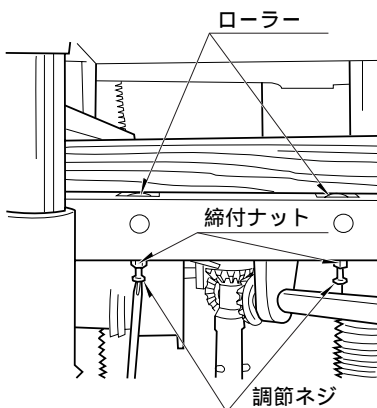
切削

- ・木材を自動定盤に沿わせて送り切削を行います。長く重い材料の場合、特に削り始めと、削り終りには木材が定盤面に平行となるように木材を支えてください。段差が少なくきれいな仕上面となります。
- ・反復切削する場合は、返しローラーで木材を送り返しますと、楽に作業ができます。
(注) 切込量が多すぎて送材不能になったとき、そのまま放置しますと送りローラーが摩耗してしまいます。速やかに昇降ハンドル(フットスイッチ)で切込量を減らしてください。
- ・幅の狭い材料、やわらかい材料を切削する時は、荷重調節ネジを左に戻し、出側送りローラーの押え圧を弱くしてください。
- ・2本以上の材料を同時に切削する場合は、できるだけ離してください。隣接して切削しますと、薄い方の材料が刃先によってはね返されることがあります。



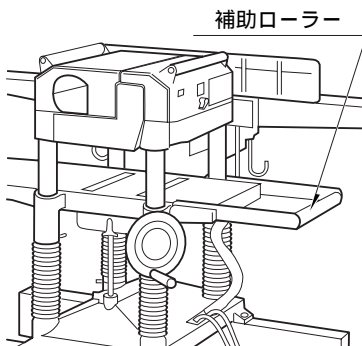
定盤ローラーの調節

- ・締付ナットをわずかゆるめ、調節ネジを回してローラーを定盤面より0.1～0.2mm(ハガキ1枚の厚み)高くしてください。調節後は締付ナットをしっかりと締付けてください。
- ・2個のローラー高さが揃いずと切削材の厚さが不同になったり、ローラーが高く出すぎますと切削面に段がついたりしますのでご注意ください。



補助ローラーについて

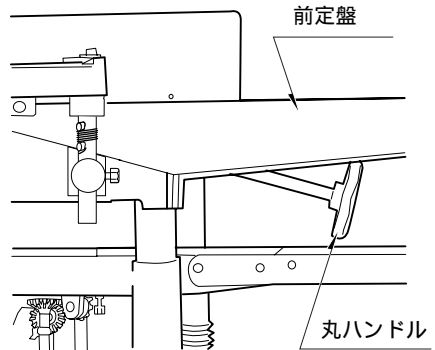
- ・自動カンナ定盤の補助ローラーの高さは、仕上面に影響を与えます。常に定盤面と面一にしておいてください。



手押カンナ

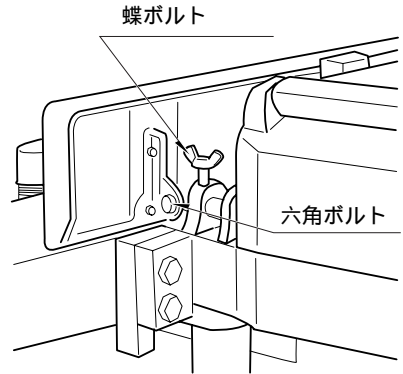
切込深さ調節

- ・ 前定盤下側の丸ハンドルにて調節します。丸ハンドルを回すことにより、切込深さは0～3mmまで自由に調節できます。



定規の調節

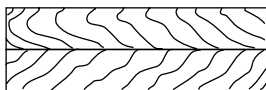
- ・ 定規は定盤に対して直角にセットして出荷しておりますが、作業前には万-のため角度をお確かめください。定規の傾斜調節は2ヶ所の六角ボルトをゆるめて、お望みの角度に定規を調節後、六角ボルトを締付けます。定規の位置調節は2ヶ所の蝶ボルトをゆるめて、お望みの位置に定規を調節後、蝶ボルトを締付けます。



刃先高と後定盤の関係

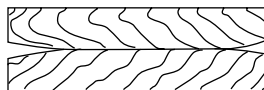
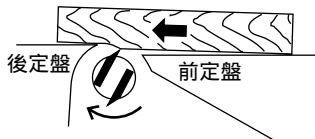
- ・ 加工品は2つの木を削り合わせたものです。

正しい場合



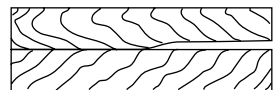
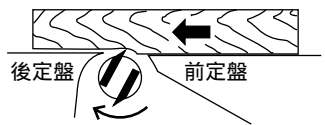
加工品

後定盤よりカンナ刃が低い場合



加工品

後定盤よりカンナ刃が高い場合



加工品

替刃式カンナ刃の交換と刃先調節

⚠ 警告

- ・カンナ刃の交換の前に必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因となります。

⚠ 注意

- ・カンナ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。
- ・カンナ刃の取扱いは、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。不用意に扱うと、切傷の原因になります。

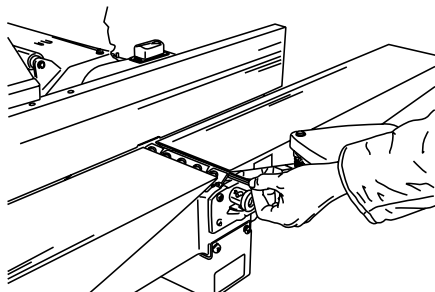
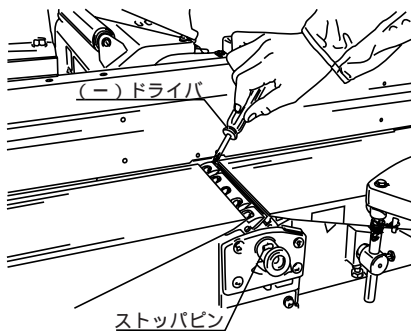
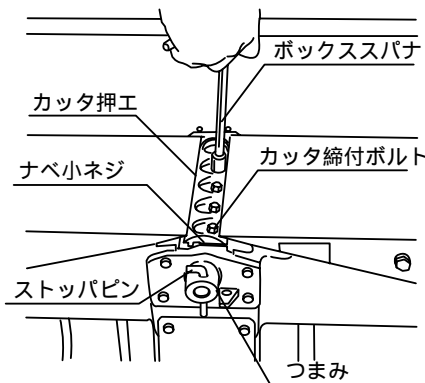
(注) 刃先調節は工場出荷時に調整されておりますので、カッタ保持プレートを取付けている2本のナベ小ネジはゆるめないでください。

(注) 安全カバーを元に戻す場合は、安全カバーが手押定盤に接触しないようにしてください。また、安全カバーと手押定盤の間隙は6mm以内で取付けてください。

- ・カンナ刃の交換は、次の手順で行ないます。

(取外し)

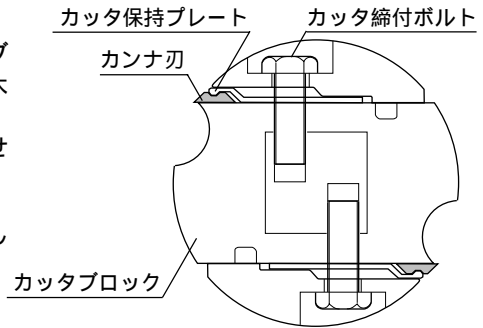
1. 六角ボルトをゆるめ、安全カバーを取外します。
2. つまみカバーを外し、つまみを回しながらカッタ締付ボルトを上向きにして、手押カンナ横のストップ穴にストップピンをさし込み、カッタブロックを固定します。
3. 付属品のボックススパナ (10mm) でカッタ締付ボルトをゆるめます。
4. カンナ刃を付属品の(-)ドライバの先で押し出してください。
5. もう一方のカンナ刃も同じ要領で取外してください。



(取付け)

(注) カンナ刃を取付ける場合は、カッタブロックおよびカンナ刃の取付け面の木屑などを取除いてください。

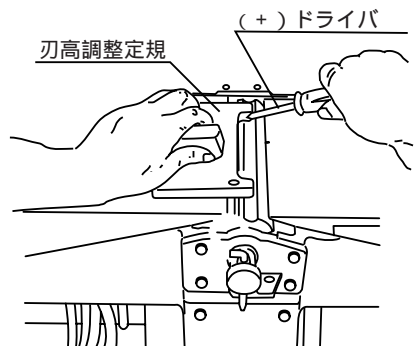
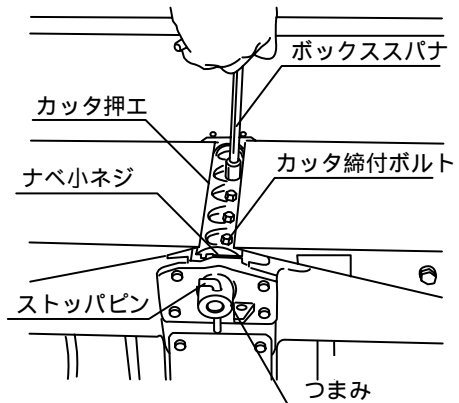
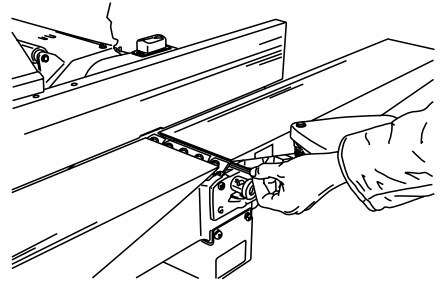
1. カッタ保持プレートの凹凸部に合わせてカンナ刃を挿入します。
2. カッタ締付ボルトを締付けます。
3. つまみカバー、安全カバーを元に戻してください。



(刃先調節)

刃先調節は工場出荷時に調整されておりますが、調整が必要な場合は下記の要領で行なってください。

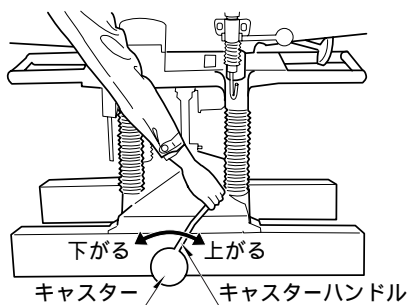
1. つまみを回して、カッタ締付ボルトを上向きにし、手押カンナ横のストップ穴にストップピンをさし込み、カッタブロックを固定します。
2. 付属品のボックススパナ (10mm) でカッタ締付ボルトをゆるめます。
3. 付属品の (+) ドライバでナベ小ネジをゆるめます。
4. ストップピンを抜き、刃先が真上になる位置までつまみを回し、再度ストップ穴にストップピンをさし込み、カッタブロックを固定します。
5. 刃高調整定規を後定盤端よりカンナ刃の刃先に当てがって、後定盤とカンナ刃の刃先が同じ高さになるように、付属品の (+) ドライバで皿小ネジを調整します。
6. 調整後、ナベ小ネジ、カッタ締付ボルトの順に十分に締付けてください。
7. ストップピンを抜き、つまみカバー、安全カバーを元に戻してください。



研磨式カンナ刃をご利用になりたい場合は、研磨式カンナ刃・押工板セット (別販売) をお買い求めください。

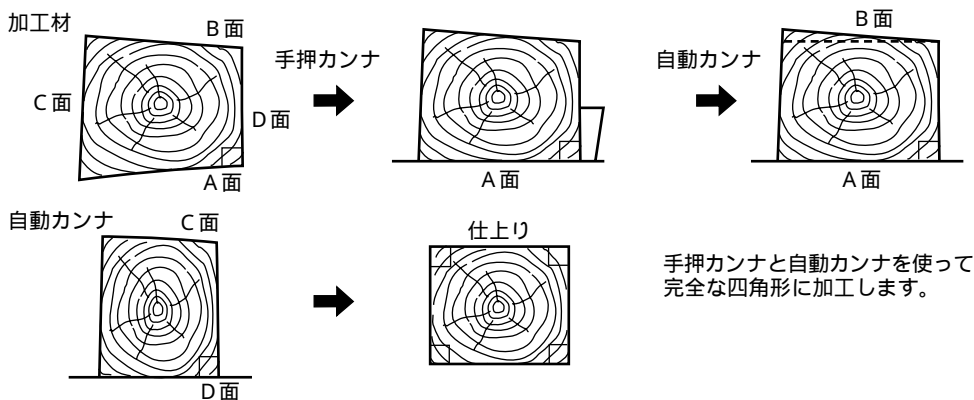
運搬用キャスター

- 本機の運搬には、運搬用キャスターをご利用ください。キャスターはキャスターハンドルにより上下します。運搬時はキャスターハンドルを左に倒し、キャスターを下げてください。

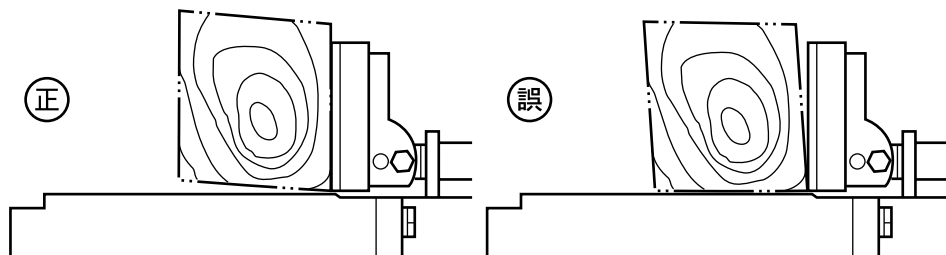


直角出し・分決め

(直角削り、反った材木を手押カンナで切削し、自動カンナで仕上げます。)

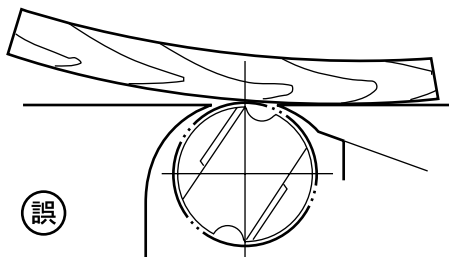
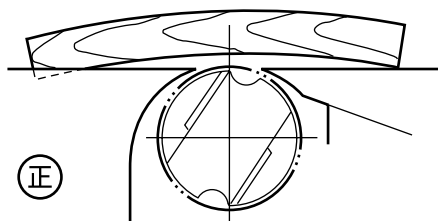


正しい削り方と悪い削り方

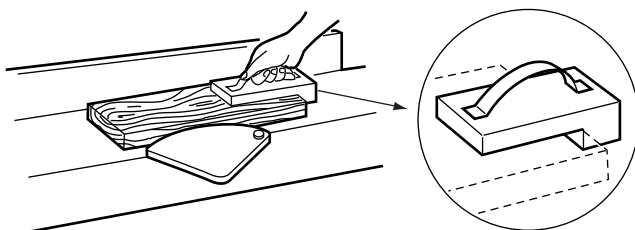


弓形に反った材料

凸部を上にして削る



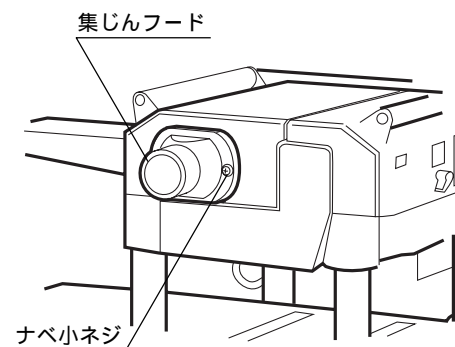
薄い材料削りは板押し治具を作成して行なうと安全に作業できます。



別販売品について

集じんフードセット

- ・本機に集じん機を接続されると、ほこりの少ない衛生的な作業ができます。
- ・上部カバー横の排出口に別販売品の集じんフードをナベ小ネジで取付けます。
- ・集じん機の接続には集じんフードに内径100mmの集じんホースを取付け、ご使用ください。



保守と点検

警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にプラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

- ・油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

修理について

- ・本機は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

カンナ刃について

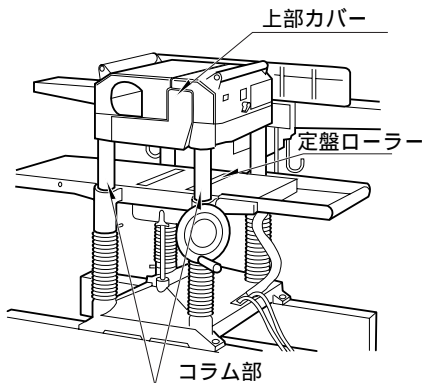
- ・切れ味の悪くなったカンナ刃をそのままご使用になりますとモーター、その他に無理がかかり、作業能率も悪くなりますので早めに交換してください。カンナ刃を交換する場合は2枚1組単位で交換してください。

清掃と注油

- ・送りローラー部、定盤ローラー部、上部カバー内その他に切屑、ゴミなどが付着しないように常に清掃してください。

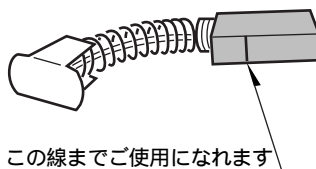
また、チェン(チェンカバーを外す)昇降ギヤ、ネジ部などの摺動部にはときどき注油してください。

(注) モーター内部に水・油などが入らないように注意してください。



カーボンブラシ

- ・カーボンブラシは全長の1/3までご使用できますが、時々カーボンブラシを外して点検し、新しいカーボンブラシと交換してください。短いカーボンブラシをそのまま使っておりますと、モーター損傷の原因となることがあります。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは、指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



NOTE

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141